

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

広島文化学園大学・短期大学における教員養成は、教科等に関する専門的知識、幅広く深い教養、教育者としての使命感と教育的愛情、人間の成長・発達についての深い理解、そしてこれらを基盤とした実践的指導力を養うこと目標とする。

1. 各学科の教員養成の目標

広島文化学園大学

(1) 社会情報学部 グローバルビジネス学科

グローバルビジネス学科では、社会学及び社会情報学的見地からグローバル化の実相を把握し、社会学の知見と分析能力をビジネスの現場に活かし、今日のグローバル社会の課題を発見・解決できる人材を養成する。

(2) 社会情報学部 健康福祉学科

少子高齢化の中で、地域における自立生活支援や福祉ニーズ等社会における福祉の状況を科学的に分析・把握することができ、よりよい福祉を目指して社会へ働きかけることができる人材を養成する。

(3) 看護学部 看護学科

看護師・保健師の教育および教職課程(養護)教育の実績から、看護の教員免許状を有する高等学校教員の養成を行い、豊かな人間性と総合的な判断力を培った教育職員を育成し、地域における看護学教育の発展・准看護師教育に寄与する。

(4) 学芸学部 子ども学科

子どもの心身の健全な発達と成長に対する十分な理解をもち、教育内容の高い専門性と優れた子ども・子育て支援の実践力を備えた教員を養成する。

(5) 学芸学部 音楽学科

音楽に関する専門知識・演奏技能と幅広い教養を備えて、音楽教育および地域の音楽文化を担うことのできる人材を養成する。

(6) 人間健康学部 スポーツ健康福祉学科

学校の教育課程にみる体育の実践指導力の獲得のみならず、地域社会で推進される体育・スポーツ事業に積極的に参画できる素養(知識)と行動力を身につけた教員を養成する。

広島文化学園短期大学

(1) コミュニティ生活学科

衣、食、住、人間関係等の知識・技能を総合的に身につけ、個性豊かな生活づくりと地域社会の文化形成に役立つ指導を行うことができる教師を育成する。

(2) 食物栄養学科

栄養士として必要な専門的知識や技能、態度を身につけ、児童生徒の望ましい食生活について指導を行うことができる教師を育成する。

(3) 保育学科

保育者として必要な専門的知識や技能、態度を身に付け、子どもたちに寄り添い、発達を促し、保護者及び地域の子育てを支援できる教師を育成する。

2. 教員養成の目標を達成するための計画

《広島文化学園大学・広島文化学園短期大学》

本学における教員養成の目標を達成するために、教員免許上必要とされる教育課程を適切に編成し、教員免許状の取得をめざす学生が、授業科目の単位修得等を通じて教員として必要な資質能力を身につけることができるよう、教育内容や指導の充実を図る。具体的には、入学時に担当教員が教職への理解や必要な科目の履修等の教職課程に関する総合的な指導を行う。また、本学独自の「HBG 夢カルテ」を活用し、セメスターごとの目標を立て、自己点検・評価を行うことを学生に義務づけ、教員がサポートする。

さらに、教職課程のための「履修カルテ」を活用し、学生自ら教職関連科目の履修状況についての自己点検・評価を定期的に実施し、目指す教員像を意識させ、必要な資質能力を身につけるための学習に対する意欲の向上を図っている。